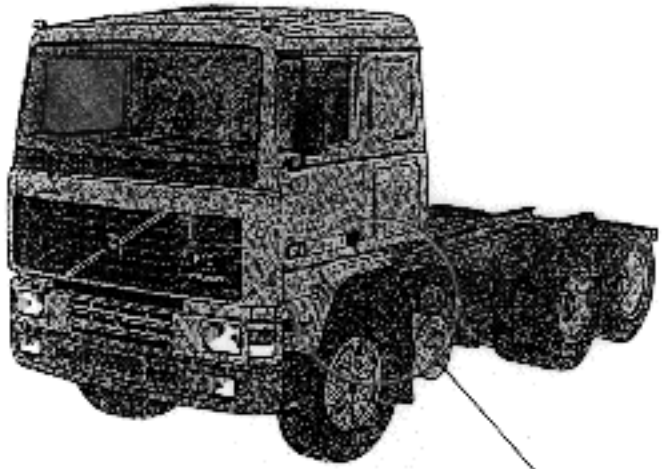
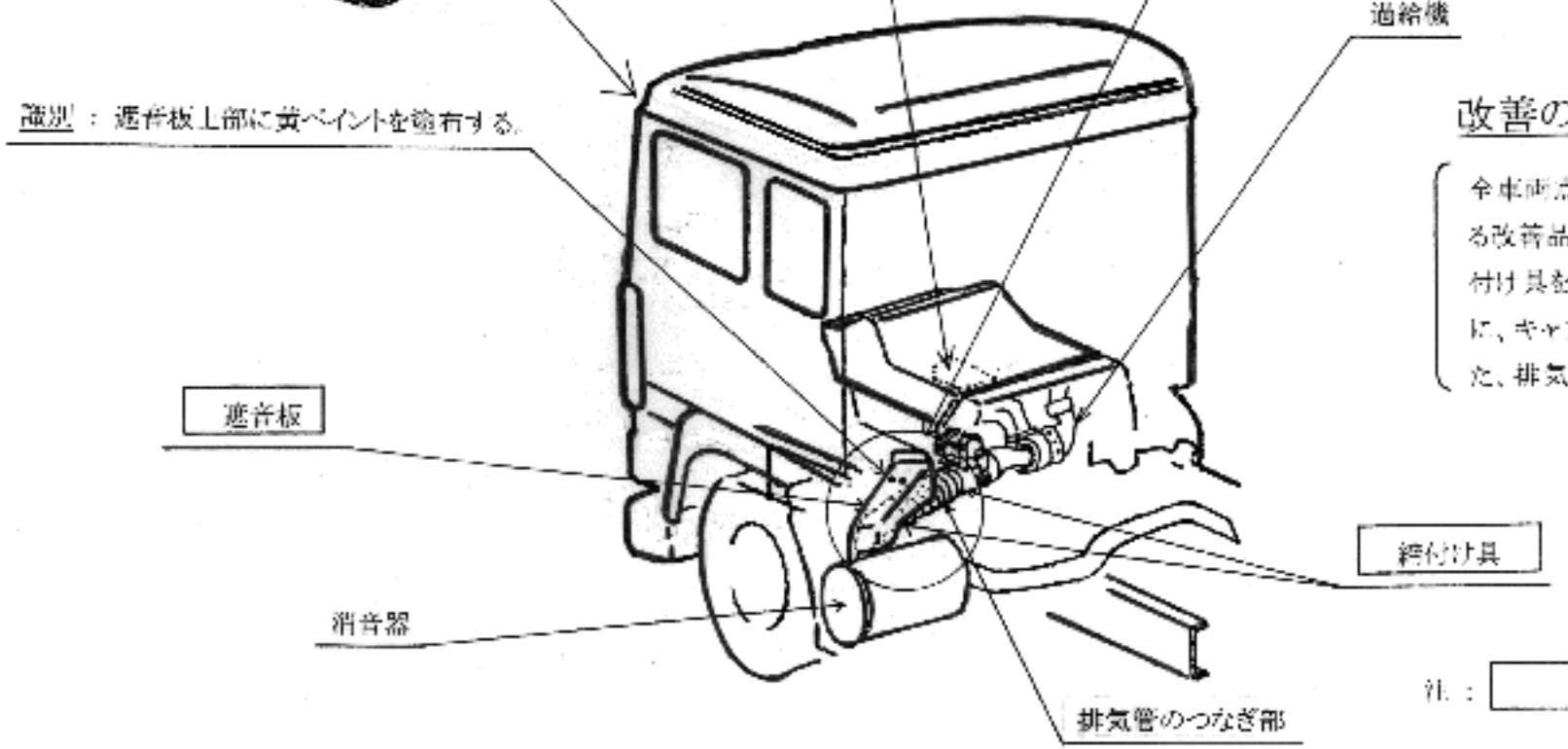
改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

騒音防止装置の遮音板の耐熱性が不十分なため、また、排気管のつなぎ部の締付け方法が不適切なため、排気ガスが漏れて当該遮音板にすすが付着することにより、最悪の場合、遮音板が焼損し、車両火災に至るおそれがある。



改善の内容

全車両点検し、当該遮音板を耐熱性のある改善品に、また、排気管のつなぎ部の締付け具を改善品にそれぞれ交換するとともに、キャブの下面に遮熱板を追加する。また、排気管のつなぎ部も良品と交換する。

注：□は変更・追加部品を示す。